

95号車「SPOON リジカラ CIVIC」、順調な滑り出し



3月1日(日)にモビリティリゾートもてぎにて行われたENEOSスーパー耐久シリーズ 2026 Empowered by BRIDGESTONE 公式テストに出場した95号車「SPOON リジカラ CIVIC」(小松一臣/小出峻/三井優介)は、前日に行われた特別スポーツ走行枠から公式テストを通じて周回数を重ね、大きなトラブルなく今季ドライバー体制によるコンビネーション確認を終えました。

今季からAドライバーとしてチームに合流した小松一臣(50)は、30年間のレース歴を持つベテランでスーパー耐久シリーズでは、過去にクラスチャンピオンを獲得した経験もあります。この日初めてチーム SPOON のレーシングスーツに袖を通した小松は、「SPOON のシビックには富士のスポーツ走行で乗せてもらいましたが、同クラスの車両複数と走るのは今回が初めてです。これまではキャリア初期にFF車はだいが乗っているものの、近年はFR車中心だったので少し習熟が必要だと思っています。せっかく声をかけていただいたので、チームに貢献できるよう頑張ります」と笑顔で話しています。

1年ぶりにチームに復帰することとなった三井は、「純粋に嬉しいです。一度チームを離れてしまうと、なかなか簡単に戻ることはできないと思うんですけど、こうやってまた心よく迎え入れていただき、かつCドライバーのポジションでレースができることは本当に嬉しく思いますし、感謝しかありません。去年は富士24時間だけ出させていただきましたが、それ以外はスーパーフォーミュラライツで、いろいろドライビングもセットアップとかも学んできて、成長してきたつもりです。今回乗ってみて、久々の箱車だったので、少し感覚がズレている部分があり、その修正に時間がかかってしまったかなという印象はあるんですけど、以前よりはクルマに対する理解度も増え、自分自身も強くなってきているので、開幕戦レースが楽しみです」とコメント。エースの小出峻は、「最低限一度は優勝してチャンピオンを獲得するのが目標です。去年は一勝もできておらず、その悔しさがすごくあったので、今年はマストで達成したい。クルマのトラブルは、去年の前半はまだ残っていましたが、後半はトラブルの洗い出しがほとんど終わって、本当に戦える状態になっていると思います。あとは、勝つための速さが必要だと思います。小松さんは、普通にちゃんと速いので心配ないです。人柄も良いですし、もうすでにチームに溶け込んでいますね。なので、本当に今年はメンバー的にも、クルマ的にもとても楽しみです。素直にそう思います」と語っていました。

チーム監督の原剛は、「小松さんが新加入して三井さんが復帰したので、まずその習熟を中心にやりました。クルマに関しては、両日ともタイヤが良い状態の時に、ちょっとセットアップに苦しんだところはありませんでしたが、今回は二日間で合計5時間という走行時間があって、色々試すことができたので良かったです。本番のレースウィークに良いスタートがきれるように今準備できることは整ったと思います。小松さんはドライビングもすごくコンスタントに周回を刻めるし、予選でもここぞという時に攻める事ができるドライバーだとわかりました。ガレージに戻ってからフルオーバーホールするものはもちろんありますが、良い形で開幕を迎えられるフィーリングは掴めています」と語っています。

95 号車「SPOON リジカラ CIVIC」が属する ST-2 クラスは今回 8 台が参加。開幕にはさらに数台増えそうな情報があります。二日間合計で 108 周を走り、公式テストでは ST-2 クラス 2 番手タイムを記録しています。シリーズ開幕戦もてぎ 4 時間レースは、3 月 21 日(土)・22 日(日)に開催されます。